

当日関連イベント

大人からお子様まで楽しんでいただける催しがあります。
(写真は麒麟獅子フェスタ2022・2023の際のものです)

●展示・ワークショップ



●こども縁日&屋台



●獅子とのふれあい



●各神社の麒麟獅子展示



●麒麟獅子舞アーカイブ映像の上映(日本海テレビ制作番組の中から)



| 駐車場のご案内 |

- P1** 岩美町中央公民館南側駐車場
- P2** 岩美町民体育館駐車場
- P3** 岩美町役場駐車場
- P4** 岩美町役場職員駐車場
- P5** 保健センター駐車場(環境省浦富自然保護官事務所横)
- P6** 鳥取県立岩美高等学校駐車場
- P7** 岩美町立岩美中学校駐車場

※当日は、係員や誘導看板の指示にしたがってください



JR時刻表

鳥取発	岩美発	浜坂着
8:11	8:37	8:58
9:45	10:08	10:27
12:15	12:42	13:03
12:56★	13:13★	13:28★
13:33	13:57	14:17
15:05	15:29	15:49
16:21	16:46	17:07

浜坂発	岩美発	鳥取着
9:41	10:10	10:36
11:35★	11:50★	12:07★
12:00	12:20	12:45
13:04	13:26	14:00
14:18	14:39	15:05
16:04	16:24	16:49

★特急はまかせ

Access Map



日本海の風が生んだ絶景と秘境
幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」

8/25(日)
10:00~16:10
岩美町中央公民館
(鳥取県岩美郡岩美町浦富1038-6)
入場無料
事前申込不要

麒麟
獅子舞
フェスタ
2024

とっとり
日本遺産フォーラム

岩美町制施行70周年記念

主催：とっとり日本遺産ネットワーク会議(事務局：鳥取県)
日本遺産・麒麟獅子舞フェスタ2024実行委員会(因幡麒麟獅子舞の会、鳥取商工会議所青年部、一般社団法人麒麟のまち観光局、キノロジークラブ)
共催：日本遺産「麒麟のまち」推進協議会、岩美町、KANSAI感祭実行委員会(関西広域連合、関西経済連合会、関西観光本部、関西・大阪21世紀協会)
後援：鳥取市、鳥取市教育委員会、岩美町教育委員会、八頭町教育委員会、若桜町教育委員会、智頭町教育委員会、新温泉町教育委員会、香美町教育委員会、獅子博物館、公益社団法人全日本郷土芸能協会、NKT日本海テレビ、BSS山陰放送、TSKさんいん中央テレビ、NHK鳥取放送局、テレビ朝日鳥取総局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、読売新聞鳥取支局、毎日新聞鳥取支局、朝日新聞鳥取総局、産経新聞社、日本海ケーブルテレビネットワーク、エフエム山陰、鳥取テレビア

【お問い合わせ】日本海新聞 ビジネス支援部 TEL0857-21-2885
※裏面に会場へのアクセス案内及び屋台村、ワークショップ等の案内があります。

©鳥取県
写真提供：キノロジークラブ





とっとり日本遺産フォーラム

とっとり日本遺産の魅力・麒麟が舞う大地の自然と人々

「日本遺産」とは地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーについて文化庁が認定しているものです。第3回となる本フォーラムでは、「日本海の風が生んだ絶景と秘境-幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地『因幡・但馬』」を通して、日本遺産の魅力と楽しみ方を紹介します。

10:00 開会挨拶

10:15 オープニングアクト

(麒麟獅子舞大集合1)

10:30 麒麟獅子舞ステージ1

(右ページの①～⑦の団体によるステージ)

11:30 講演「日本遺産とその魅力」

丁野 朗 氏 (公益社団法人日本観光振興協会総合研究所顧問)



プロフィール

マーケティング及び環境政策のシンクタンクを経て、1989年(財)余暇開発センター入所。2002年に(財)社会経済生産性本部に移籍。「ハッピーマンデー(祝日の月曜日指定)制度」の提唱、産業観光などの地域活性化事業に携わる。2008年(社)日本観光協会(現(公社)日本観光振興協会)に移籍。常務理事、総合調査研究所長を務める。文化庁、観光庁、経済産業省などの政府各省庁の委員や、高知県、広島県呉市、京都府舞鶴市、神奈川県小田原市など、地方公共団体の観光アドバイザーなどを務める。2020年度、永年にわたり、文化観光の分野で日本文化の継承と発展に尽力、わが国の文化遺産に貢献していることが認められ、文化庁長官表彰を受賞。

11:50 鳥取県内の日本遺産ストーリー紹介

—12:10～13:00 昼休憩(50分)—

13:00 パネルディスカッション

「『麒麟が舞う大地』の魅力」

出演者

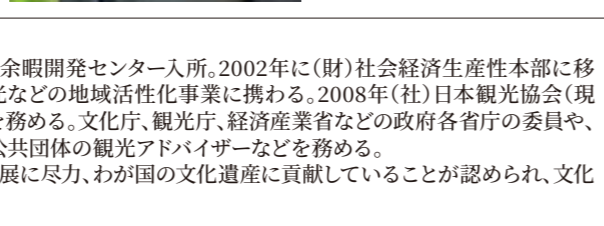
コメンテーター 丁野 朗氏
コーディネーター 田村 正弘氏(一般社団法人麒麟のまち観光局専務取締役)
パネリスト 朝野 泰昌氏(日本遺産「麒麟のまち」推進協議会会長)
片村 文系氏(いわみガイドクラブ)
前田 奈津希氏(鳥取市企画推進部文化交流課)

14:20 麒麟獅子舞ステージ2

(右ページの⑧～⑰の団体によるステージ)

15:55 フィナーレ(麒麟獅子舞大集合2)

16:10 終了



日本遺産 麒麟獅子舞 フェスタ 2024

日本遺産認定・国重要無形民俗文化財指定



麒麟獅子舞ステージプログラム

10:15～ オープニングアクト(麒麟獅子大集合1)

演舞 10:30～[江津神社]
①江津獅子保存会



例祭: 4月22日と10月22日の直近日曜日
神社、獅子宿(公民館)で本舞。各戸を門付。頭に文化2(1805)年の記載。倉田八幡宮流の静かな動きが基本。動いているのかわからないくらいが良とされる。

演舞 10:38～[立川稲荷神社] 親子2頭舞
②立川稲荷神社大獅子



例祭: 5月23日に近い土曜・日曜(例大祭は4年に1度)
舞は宇倍神社と構踏の舞いを合体させて稲荷神社に特異なものを作ったとされ、頭役が片膝をつき、頭を尾に回し向け、前に出す「おり」や「きざみ」等の所作があり、優雅でゆったりとした動きが見どころである。

演舞 10:38～[立川稲荷神社] 親子2頭舞
②立川町三丁目こども獅子舞保存会



例祭: 5月23日に近い土曜・日曜(例大祭は4年に1度)
小・中学生が中心となって行う麒麟獅子舞。4年に1回の例大祭時に神社での奉納舞と3丁目を門付する。愛嬌のある子どもめぐるや獅子舞ではあるが、すべてを子供達で行う、しっかりとした堂々の舞である。

演舞 10:46～[菖蒲神社]
③菖蒲神社麒麟獅子舞保存会



例祭: 4月18日までの直近日曜日
頭に明治14(1881)年巳年と記載。神社奉納や、式典等で舞う。春祭りに、本舞、門舞、中舞を行う。麒麟獅子舞を通して地域づくりを行っている。

演舞 10:54～[大森神社]
④大森神社麒麟獅子舞保存会



例祭: 元旦、5月第2土曜・日曜
権現流を継承。昭和20年代中断。昭和50(1975)年、戦前の舞手・濱野(故人)を探し、師事し復活。頭を低くにらみ、片足で立ち上がる静かで厳かな舞が特徴。

演舞 11:02～[米岡神社]
⑤米岡神社麒麟獅子舞保存会



例祭: 4月の第3日曜
黒い獅子頭は、長年の獅子舞で金が剥がれた姿。宵宮で本舞奉納。例祭日に氏子を門付し、神社に戻って「練返し」を奉納する。また、不幸があった家では「走り込み」を行う。

演舞 11:10～[御湯神社(神楽獅子)]
⑥御湯神社神楽獅子舞保存会



例祭: 4月25日に近い日曜日
獅子舞の起源は江戸時代といわれる。狸や獅子、舞や衣裳など麒麟獅子そのものである。狸々と獅子は証と太鼓でゆっくり練りだし、その後狸々は獅子の脇に残り、獅子のゆったりとした舞に絡む。

演舞 11:18～[宇倍神社]
⑦宇倍神社麒麟獅子舞保存会



例祭: 4月21日/御幸祭
4月21日に近い土曜日又は日曜日
三方舞を本格とした、鳥取東照宮直系の舞は貴重。多くの神社の舞に、宇倍神社麒麟獅子舞の影響が濃く残る。

KANSAIゲスト獅子舞 14:20～[藤白神社]
和歌山県指定無形民俗文化財(和歌山県海南市藤白)
⑧藤白の獅子舞保存会



例祭: 元旦、10月第2日曜日
平安時代、熊野へ向かう途中に立ち寄った上皇や貴族に披露した里神楽が起源とされる。今は、藤白神社で元日に行われる初舞、10月第2日曜の秋祭りのほか、地域の行事などで出張演舞を行う。

演舞 14:40～[芦津神社(子)]2頭舞
⑨芦津子ども獅子舞の会



例祭: 10月第2日曜日・10月28日
麒麟獅子舞の技術伝承のため、2001年に子ども用の獅子を制作し、小学生を対象に垂井神社の奉納舞を取り入れ、毎年10月の芦津神社と垂井神社の例祭で大人獅子と一緒に舞を奉納。

演舞 14:46～[垂井神社・芦津神社(親)]
⑩芦津獅子舞保存会



例祭: 10月第2日曜日・10月28日
大正中期頃より宇倍神社の舞を伝承。芸態は因幡の麒麟獅子舞が示す威厳・荘重・能舞的。赤・黒・緑の3色からなる縞模様の紋様が特徴。獅子舞を習い終え、免許皆伝の際、池田家に伝わる布団袋を持ち帰り紋帳にしたと伝わる。

演舞 14:54～[大山神社]
⑪屋住獅子舞保存会



例祭: 4月第1土曜日・日曜日(獅子舞は日曜日)
東井神社に舞を習うがリズムは違い、大山神社の神楽獅子舞(宮原)の特徴が濃く残る。狸々の長い赫鬚と袖、低い姿勢で怪しく愛らしい動きが特徴的。

演舞 15:02～[湯所神社]
⑫湯所神社麒麟獅子舞保存会



例祭: 4月27日・29日
頭は天明8(1788)年作で、記載がある因幡の麒麟獅子頭の中で最古。ゆったりとした威厳ある素朴な舞。丸い目玉の獅子頭と髭のある狸々は比較的珍しい。

演舞 15:10～[八柱神社・三柱神社]
⑬御火浦麒麟獅子舞保存会(三尾麒麟獅子舞)



例祭: 10月第2日曜日
三尾の麒麟獅子舞は、享保・天保の飢饉の頃、村人の病魔を祓うため舞われたのが始まりと伝えられている。舞は銅拍子・笛・太鼓の囃子に合わせ、頭を地面にこするように低く、そしてゆっくり舞うのが特徴の一つ。

演舞 15:18～[樋口神社]
⑭樋口神社麒麟獅子舞保存会



例祭: 4月29日
宇倍神社の流れをくむ。本舞は40分以上。シンプルで、ゆっくりとした舞の中に、ダイナミックな動きがメリハリを生む質実剛健で神秘的な舞が特徴。

演舞 15:26～[八幡宮(古海)]
⑮八幡宮獅子連



例祭: 4月第2土曜・日曜、9月十五夜直近土曜
江戸後期創始。舞は権現流。春は2日間600戸の氏子の家を門付けする。頭が常に正面を向き、緩急のある動きと、低く地を這う「引き」が見所。

演舞 15:34～[荒木三嶋神社]
⑯秋里伝統文化を保存する会



例祭: 4月14日までの直近日曜日
「権現流」の流れをくむ。舞は獅子頭を低くし「後(あと)けん」が両手を広げて大きな三角形をつくり、ゆったりと地を這うように優雅に舞い、狸々は赤い狸々棒をかざして獅子を巧みに舞へと誘う。

演舞 15:42～[熊野神社]
⑰浦富麒麟獅子舞保存会



例祭: 西暦奇数年5月最終日曜日
頭は文化13(1816)年仏師・山本利助作で8kg以上。昨年、彫刻家・矢山裕二の修復で2世紀前の姿に。狸々の穏やかな眼とゆったりと重厚な舞が人々を癒す。

15:55～ フィナーレ(麒麟獅子大集合2)